

AI ペルソナを活用するために

～ ペルソナの育て方 ～

Takahashi, Nobuyuki

Solutions Architect

Amazon Web Services Japan G.K.



今日のごたえは、いかがでしたか？



or



意外と使えそう！

まだ足りない…

ペルソナの "出来" を測る 4つの軸

具体性

行動の"なぜ"まで語れるか？
→ 「誰にでも当てはまる」で施策が絞れない

差別化

ペルソナ同士が十分に違うか？
→ 名前が違うだけの同一人物

弱いと感じた軸 = 次のアクションのヒント

予測力

過去の施策結果を説明できるか？
→ シミュレーションが信用できない

施策接続性

「何をすべき？」に答えられるか？
→ 「面白いけど使えない」で終わる

ペルソナを効果的に育てるステップ

今日の結果から、取り組むステップを確認しましょう

ソリューションを使い倒す

深層理解データの拡充

データを広げる

2nd/3rd Party Data の活用

データを足す

1st Party Data の活用

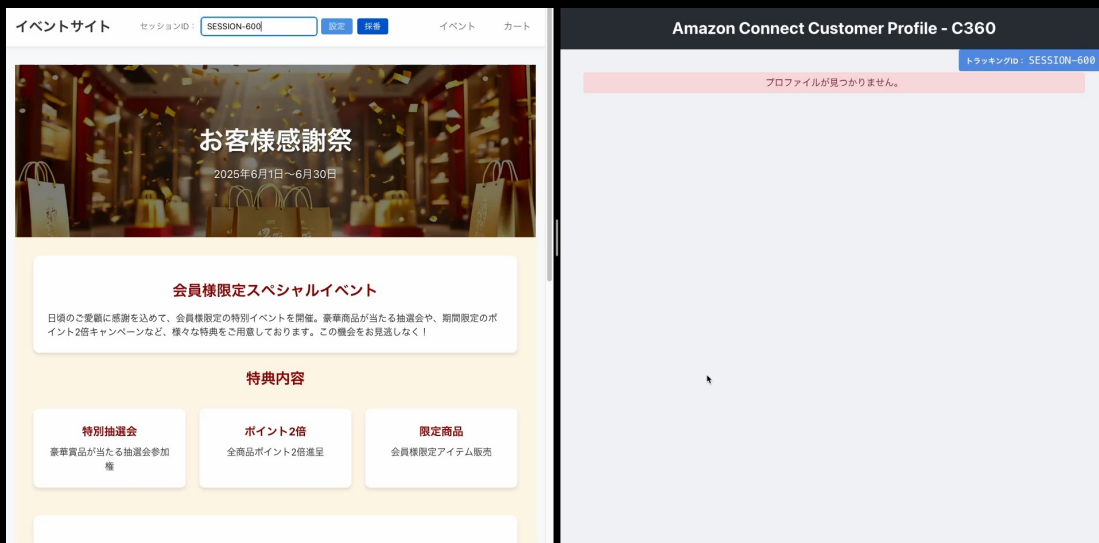
STEP1 データを足す

弱いと感じた軸	アクション	具体的な方法（例）
具体性	行動の詳細データを追加	購買データ・閲覧ログ等をCSVで追加アップロード
差別化	セグメントの切り口を変更	CSVのセグメント分けを変えて再生成 / DWH連携
予測力	施策×反応データを投入	キャンペーン反応履歴・CV実績等をCSVでアップロード
施策継続性	プロンプト設計を改善	カスタムプロンプトで目的を明確化

Clickstream Analytics on AWS

<https://aws.amazon.com/jp/solutions/implementations/clickstream-analytics-on-aws/>

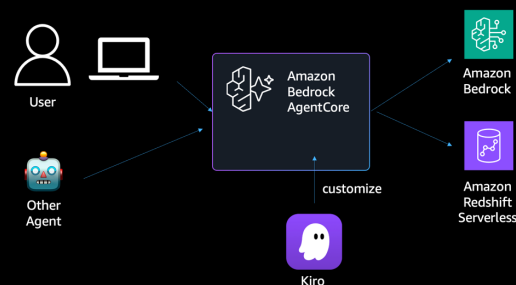
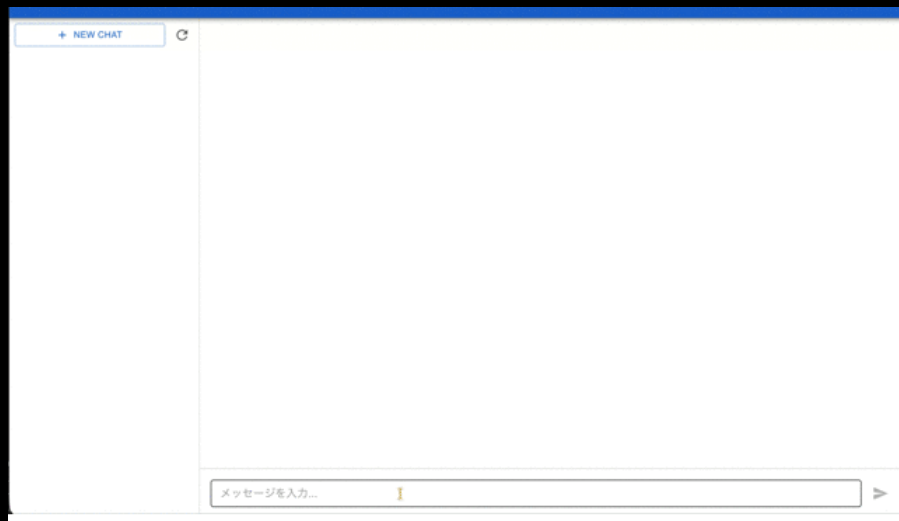
クリックストリームデータのデータインジェスト、処理、および視覚化のための機能を提供。お客様の行動履歴をニアリアルタイムに取得、分析することで、パーソナライゼーションを最適化。



Discovery 360

<https://github.com/aws-samples/sample-text2sql-agent>

自社データに対し自然言語で問い合わせ。業務知識（セマンティックレイヤー）を前提とし、次アクション提案までを担えるよう設計。人は問いを投げ、結果の確認と意思決定に集中できます。





Amazon Quick

仕事のための AI アシスタント



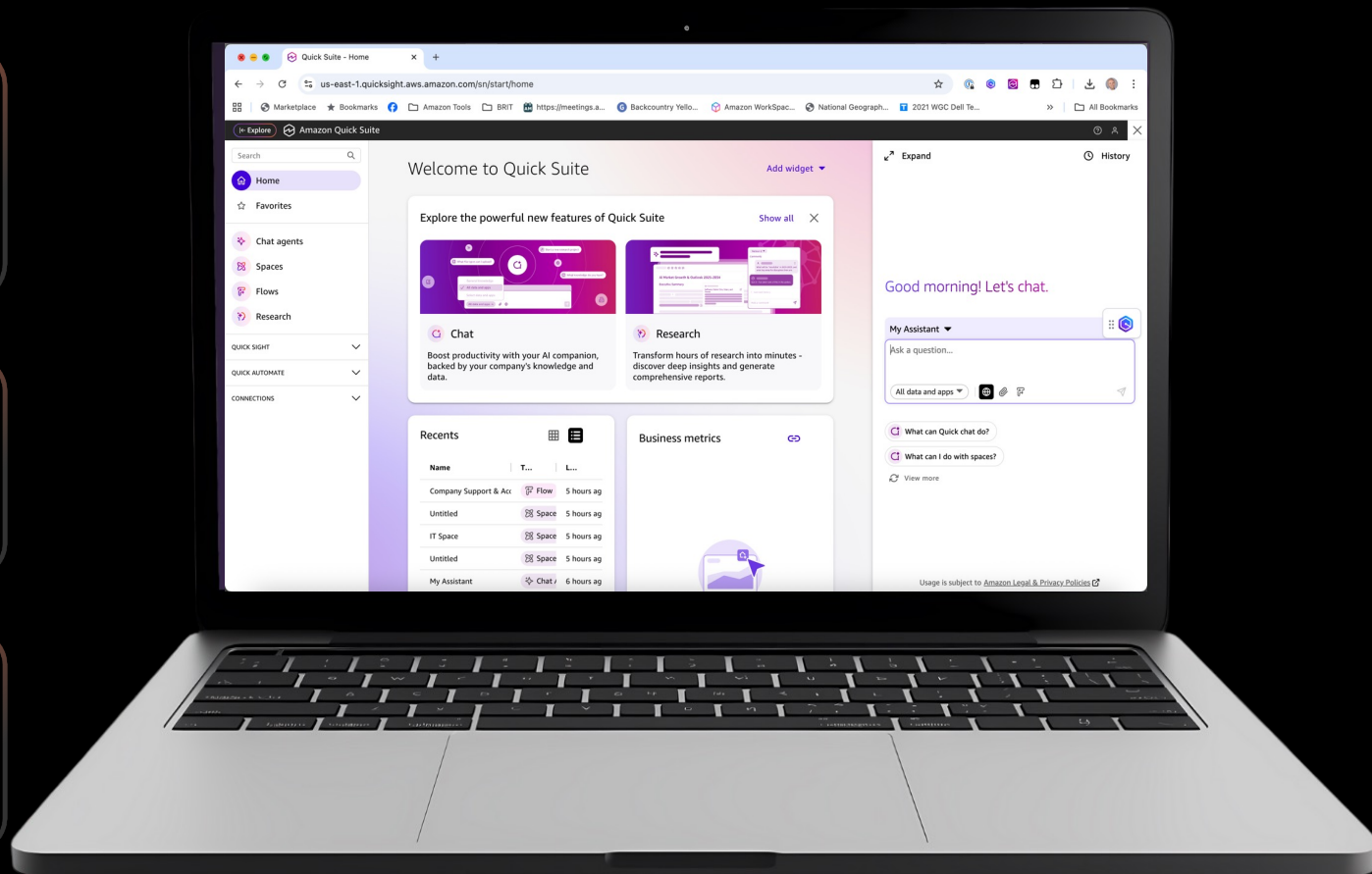
データすべてを使い
正しい答えを素早く得る



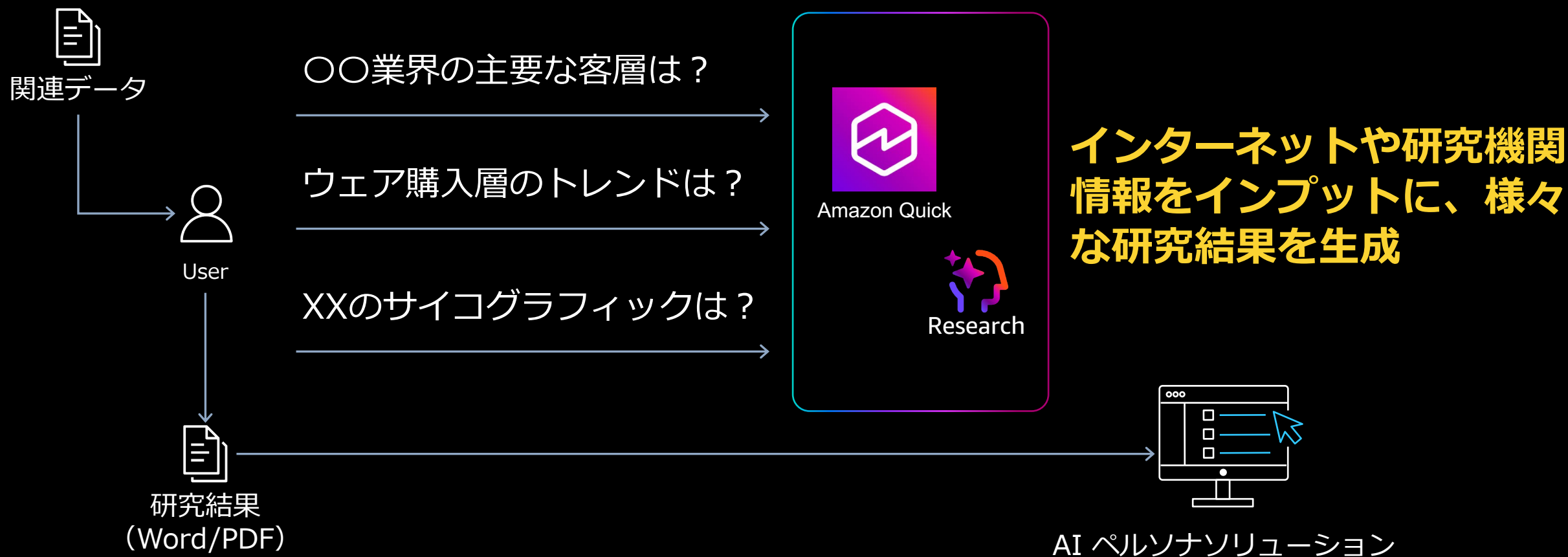
回答からアクションへ



企業利用レベルの信頼性、
セキュリティ、可観測性



リサーチ（研究）を使った調査



STEP2 データを広げる

データの分類	概要	データ例	サービス
公開・購入データ	データプロバイダーから購入 or 無料取得できる汎用データ	市場調査レポート、天気、為替レ ート、人口統計、POI（位置情報）、業 界ベンチマーク	Data Exchange
パートナー 連携データ	提携企業と相互に共有する データ。生データは見せずに 分析結果だけを使う	リテーラーの購買データ、メディア の視聴データ、共同プロモーション の反応データ、CDPのオーディエン スデータ	AWS Clean Rooms
広告シグナル	Amazonの広告配信・購買行 動に関するイベントレベル データ	広告インプレッション・クリック、 Amazon上での購買イベント、DSP キャンペーンのアトリビューション	AMC

AWS Clean Rooms

数分でクリーンルームを作成、生データを共有することなくコラボレーションを実現



<https://aws.amazon.com/jp/clean-rooms/>

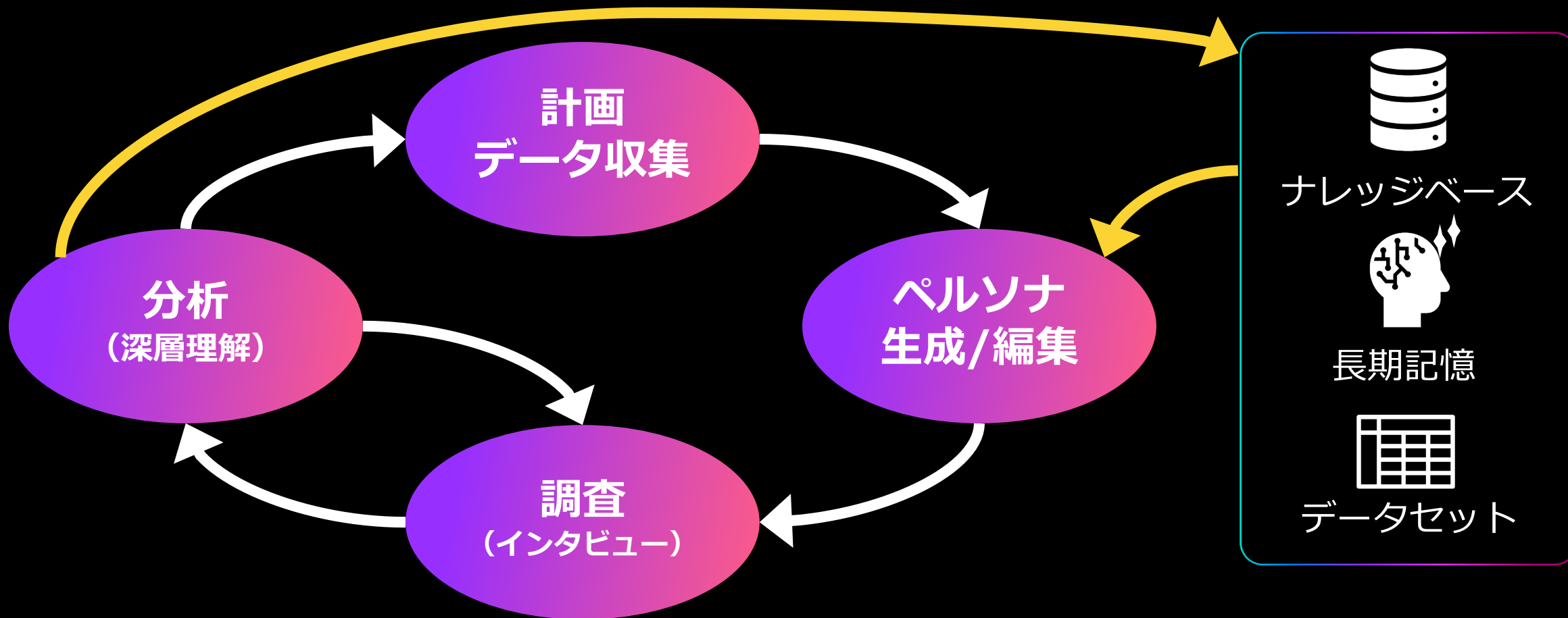
クリーンルームを作成、メンバーを追加したら、数クリックでコラボレーション開始

AWS ユーザーの数十万社と、生データを共有・公開することなくコラボレーションを実現し、データセットの照合、分析からインサイトを導出

クリーンルームのプライバシーを強化する幅広いコントロールセットで生データを保護

柔軟な分析ルールを使用して、特定のビジネスニーズに合わせたクエリを実行

STEP3 ソリューションを使い倒す



今日持ち帰っていただくこと

01 評価する

データ充足度レポート +
4つの評価軸で「何が足りないか」を特定する

02 育てる

データを追加し、ナレッジベースとメモリでペルソナを賢くする

03 使い倒す

ソリューション内で深掘りし、アウトプットを広告・企画・調査の業務フローに乗せる

**ペルソナは一度作って終わりではない。
データで育てるもの。育てる基盤がAWS**

Thank you!

